



限界にチャレンジ

(前号から続く)

○今日から朝練が始まって、眠かったけれど授業中寝なかったのが、よかったです。数学がけっこう進んだので、計画的に進めていきたいです。

▼5月13日(金) ●●

- 1 現代文 老婆の論理を中心とした第三場面の流れ
下人の心情の揺れ動き、いとおかし。
- 2 生物 植物の組織と器官
時間はないけど観察してみたくなった
- 3 地理 地球(緯度・経度、時差など)
N堀先生って、そういう先生だったんですね
- 4 英表 Grand view Lesson6・7
英と米では、こんなにも発音が違うのかと思った
- 5 日本史 弥生時代の農耕・集落・墓制
佐賀県と島根県の方がかわいそうだった
- 6 コミュ英 マララ・ユスフサイについて
新しい単語の説明が難しかった
- 7 古典 絵仏師良秀 詳細な訳
だいぶ単語を分けられるようになって良かった

○暑い、眠い、疲れた、そして13日の金曜日(仏滅)つらたん。朝練や部活の本格的な練習などで、とても疲れがたまる日々を、よく乗り切れたなあ…と思う。大きな問題も起こらず、平和な一日だった。字が薄くて汚くてすみません。

*

●●くんの感想のところに、担任は「それが若さの特権です。疲れるくらいで

は君たちはなかなか死んだりしませんから(笑)、めいっぱい力をしぼり出してみましょ。そういう経験が3年後に結びつきます」

と書いておいた。大学入試の現場では「火事場の馬鹿力」みたいなものが結構効いたりするものなのである。そんな「力」を、日比谷生は3年間の忙しい毎日の中で身につけていくのである。部活でも自分の限界に挑戦することになるだろうが、普段の生活や勉強の中でも自分の限界に挑戦するつもりで努力してみよう。そして、勉強法や勉強時間など、この1年生のうちいろいろな工夫して、自分にあったやり方を見つけるとよいだろう。

*

そんな時、●●くんが書いた「眠かったけれど、授業中寝なかったのがよかったです」というのは、とても立派である。確かに忙しくなると眠たくなるだろう。しかし、授業中に寝ていては仕方ない。忙しいからこそ、授業を活用するという姿勢を持ち続けることが大切だ。特に、部活をやっている人は、授業がきちんと生かせるかどうか、現役で合格できるかどうかの分かれ目の一つである。眠くなった時の対処法を自分なりに工夫したり、あるいは休み時間にちょっとだけでも居眠りをしたりして、とにかく授業を真剣に受ける姿勢を持ち続けてほしい。

*

さあ、いよいよ体育大会である。13Rがどんな活躍をしてくれるのかとても楽しみであるが、同時に、他のクラスも含め、1年生全員の活躍を期待したい。FIGHT !!!